

(株)フクナガエンジニアリングとお客様をつなぐコミュニケーション誌

FECO NEWS

フェコニュース

2013. New Year vol.43

里山の風景 vol.3

凛とした気配が漂う里山の冬。七十二候の「水沢腹堅」は1月25日ごろ。沢に氷が厚く張りつめる季節を表現しています。陽だまりが恋しく、人の温もりによりいっそう触れたいくなります。





使い終わったノーパンクタイヤ（廃タイヤ）の行方は？

フクナガエンジニアリングは、ノーパンクタイヤの販売を始めて早15年。販売のみならず、お客様にお使いいただいた廃タイヤの回収も行っておりますが、回収された廃タイヤがどうなっているか、みなさんも気になりませんか？そこで、使い終わった廃タイヤの行方に今回は迫ります。



「北陸リトレッド株式会社」インタビュー

長年フクナガエンジニアリングと取引のある北陸リトレッド株式会社の林さんに廃タイヤの行方を教えてくださいました。

Q 使い終わった廃タイヤはどのような流れでリユース（熱利用・再生）されるのでしょうか？

A 集めた廃タイヤは破砕機で切断し、製紙会社、製鉄会社、セメント会社で熱源として利用されています。

Q 最近CMでも良く聞かれる「リトレッドタイヤ」とはどのようなものなのでしょうか？

A 新品タイヤの摩耗したもので傷・ひび割れ等がないタイヤを選びそれを土台にしてタイヤの接地面に再度溝を付けたものをリトレッドタイヤ（更生タイヤ）といいます。タイヤの種類としてはトラック、バス用のタイヤがメインになりますが、産業車両、建設車両用、ライントラック用のタイヤも更生しております。

Q どのような流れで「リトレッドタイヤ」になるのでしょうか？

A 選んだタイヤの接地面を削る↓傷があれば部修↓削った個所に接着剤を塗布↓新たなゴムを巻き付ける↓加硫機にタイヤを入れ熱と圧力でタイヤとゴムを接着すると同時にゴムの硬度を高める↓耐圧検査等を行い商品として出荷します。（次のページ上の図を参照ください。）

Q 北陸リトレッドさんのHPには、アメリカ、ドイツでは再生が進んでいるとの情報がありました。海外のタイヤリサイクルの状況はどのようになっているのでしょうか？

A 欧米ではリトレッドタイヤが古くから利用されており、トラック・バス用タイヤの更生比率は50%前後あります。日本は国土が狭くカーブが多いため、タイヤがねじられ、故障率が高いのもリトレッドタイヤの普及が遅れた要因に挙げられます。リトレッドタイヤの製造技術も日々進歩しており、故障率も低下したのと、エコ意識の高まりで日本での更生比率も年々高くなってきています。アジアでは経済性優先で普及が進んでいると思われます。国内からも中古タイヤ、台タイヤが多く輸出されています。

Q リトレッドタイヤについて一般のみなさんに知っていただきたいことがあれば、お願いします。

A 一般の皆さんはリトレッドタイヤを利用することはほぼないの（乗用車のリトレッドタイヤは生産をしていないため）、関心が薄いと思われるかもしれませんが、リトレッドタイヤは優れた経済性と、世界的関心事になっている環境問題にも多大な貢献をしていることを知って頂きたいですね。

北陸リトレッド株式会社プロフィール

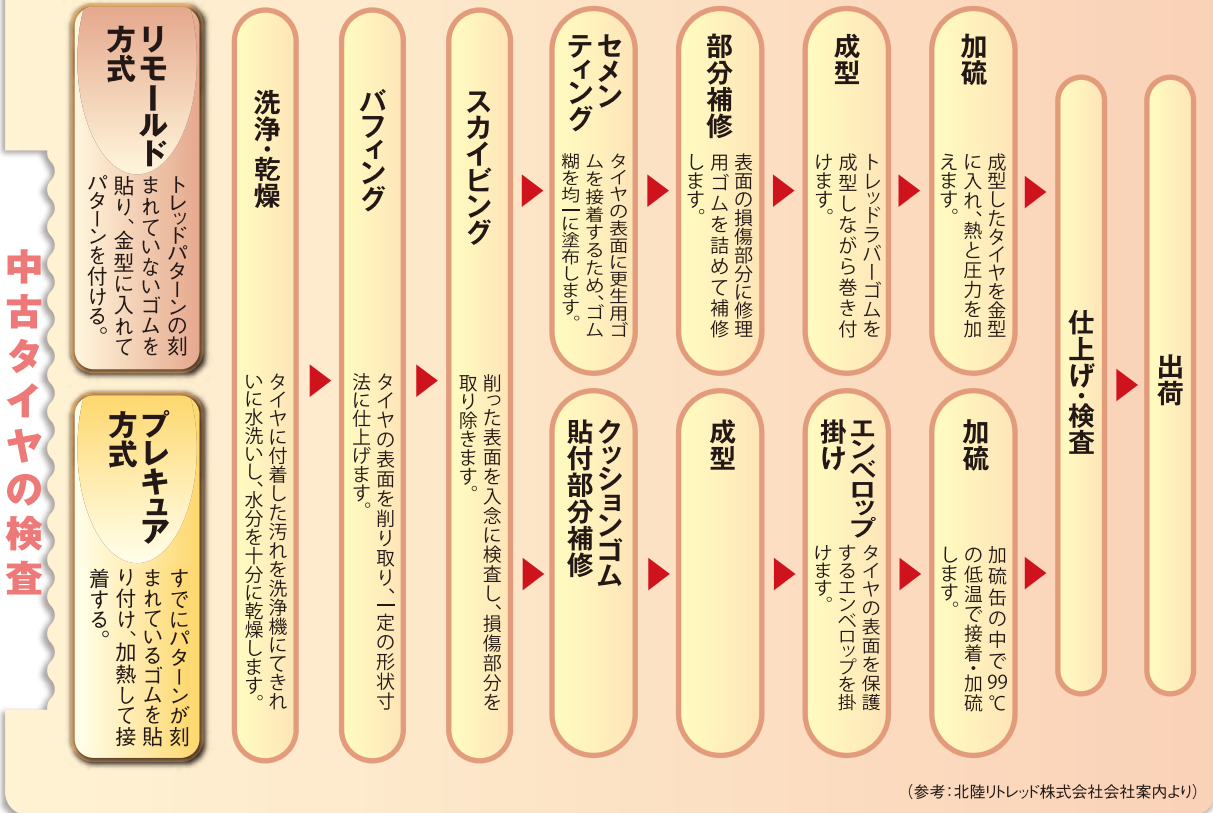
北陸リトレッド株式会社の創業は1967年。第一次寿命を終えたタイヤの表面に、新しいトレッドゴムを貼り付けてタイヤを蘇らせる 再生タイヤの製造と販売を40年以上行っております。弊社は、主に冬季、フォークリフト用スノータイヤの仕入れ先としてお世話になっております。



Q 一見、再利用されにくそうに見えるタイヤですが、使い終わった廃タイヤもこのように再利用、リサイクルができるのですね。わかりやすくご説明いただき、ありがとうございます。



リトレッドタイヤ製造の流れ

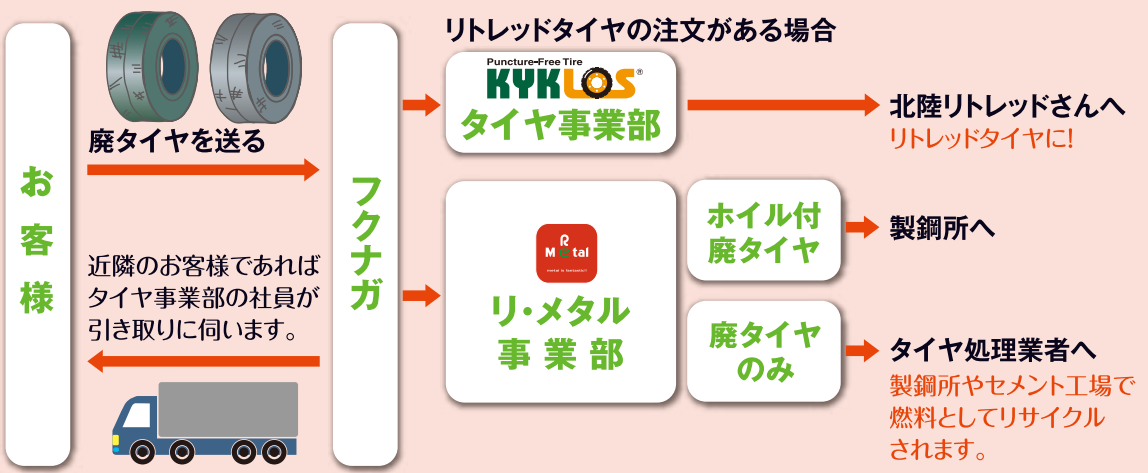


フクナガエンジニアリングのお役立ち

廃タイヤのリサイクルにも貢献しています。



フクナガエンジニアリング 廃タイヤ回収フロー





フクナガで働くスタッフをクローズアップ! フクナガの愉快的仲間たち

タイヤ事業部

山中 健太郎 (やまなか けんたろう)

●自分の性格をひとことで言うと何?

慎重かつ大胆

●現在のマイブームは?

通勤時の車内や駅での人間観察

●仕事にかける意気込みを一言!

全ての事を一から勉強しています。

植木部長はじめタイヤ事業部の

みなさんにご協力いただいて、

一生懸命努力いたしますので

よろしくおねがいします。



先輩社員からの一言

タイヤ事業部 事業部長

植木 満 (うえき みつる)

「フクナガでは新入社員ですが、人生の先輩として経験してきたことを若い人達に伝えてあげてください。」



プルタブ・アルミ缶を 集めて車イスを贈ろう!

vol.3

「みんなであつめる福祉にひろがる会」で、事務担当をしている中村と原田です。

学校や、自治体、企業の労働組合などの様々な組織、もちろん個人の方も活動に参加されています。

「どうすれば、活動に参加できるのだろうか?」と興味のある方は、お気軽にお問合せください。

皆さまの善意の輪を広げてみませんか?



一般社団法人

みんなであつめる福祉にひろがる会

担当: 中村・原田

〒536-0014大阪府城東区鳴野西5-13-30

TEL:06-6969-3735 FAX:06-6969-3611



ほっこりフクナガ写真館

vol.3



大阪府門真市

宮村 匡人様より

「京阪宇治線の電車の写真です。

旅は、近いところしか行けないのですが、近くでも名所発見しています。」

前号のテーマ
「旅」の写真投稿を
ありがとうございます。

先着20名様にクオカード
500円分をプレゼント。
ご応募いただいた画像データ(jpg)は、
この写真館のみに使用させていただきます。



応募先メールアドレス

feconews@ecosoft.co.jp

締め切り:2013年2月1日

撮影日と場所、お名前そしてできればひとことコメントをいただければ嬉しいです。

QRコード



今号のテーマは「愛車自慢」。車輪の数は問いません。特集記事のタイヤにちなんで、皆様の生活の中にある車の写真を是非投稿してください。一輪車、自転車、三輪車、乗用車、トラック、フォークリフトなどなど、車輪の数は問いません。楽しい写真をお寄せください。お待ちしております。なお公表してもよい写真を送ってくださるようお願いいたします。

編集後記

今回は廃タイヤリサイクルの特集でしたが、いかがでしたでしょうか?

私が一番おもしろいと思ったのは、それぞれの国の国土の特徴によってもタイヤの特徴が変わってくるものということ。寒い国、暑い国、でこぼこ道が多い国、綺麗に舗装された道が多い国などの、タイヤの特徴を比較してみたら面白いかもしれません。

また、今回のほっこりフクナガ写真館は「愛車自慢」。我が家は、最近新しい車に買い替えました!みなさんの愛車(車輪の数は問いませんよ)を楽しみに待っております。



渡邊 花

(わたなべ あや)

※省エネ・省資源にともない、私たちはフェコニュースをPDF版にて配布しております。ご賛同いただける方は、アンケート用紙にメールアドレスをご記入ください。次回よりメールでお送りいたします。ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



発行元:株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014 大阪府門真市城東区鳴野西5-13-30
tel: 06-6969-7657



fax: 06-6969-3633
e-mail: feconews@ecosoft.co.jp
URL: http://www.ecosoft.co.jp